

日本初の近代水道は横浜から！ 水の歴史をたどる特別展 横浜水道歴史展 を開催します

日本の近代水道^{※1}は、明治20(1887)年10月17日にイギリス人技師ヘンリー・スペンサー・パーマー氏の指導のもと横浜で初めて創設され、都市の発展に大きく貢献しました。

水道局では、1年後に迎える近代水道創設140年も踏まえ、創設から現在までの横浜水道の歴史を分かりやすく紹介するとともに、今日の水道事業へと受け継がれてきた価値を伝えるため、「横浜水道歴史展」を今年も開催します。

一般公開されていない近代水道創設当時の水道管の一部等の展示や、初の連携として西谷浄水場内に今年度新たに設置した、再整備事業のインフォメーションセンター^{※2}との特別企画を行います。私たちの暮らしを支える水道の歴史を感じられる展示に、ぜひ足をお運びください！

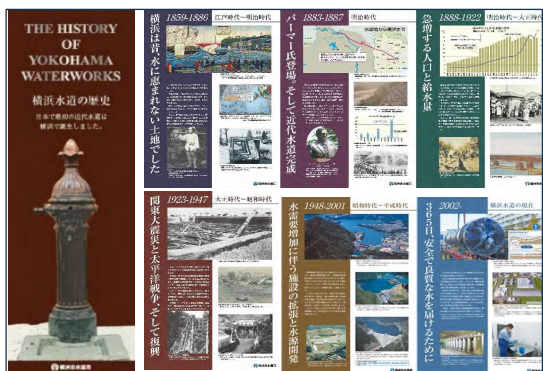
1 期間

令和8年10月19日（月）13時から10月23日（金）13時まで（閲覧無料）

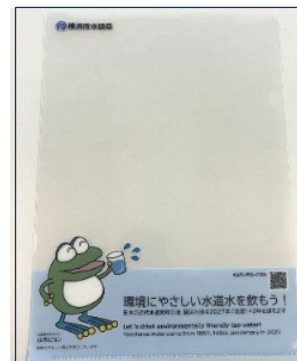
2 内容

- ・創設期の水道管の一部、獅子頭 共用栓^{※3}のレプリカ等の展示
- ・横浜の水道の歴史を解説した、横幅合計約12メートル、高さ2.7メートルのタペストリー掲出
- ・横浜水道の歴史広報動画「近代水道創設の道のり」の放映

※会場設置の二次元コードから期間中にアンケートをご回答いただいた方に、令和9年の創設140年に向けて作成した水道局オリジナルクリアホルダーをプレゼント！



タペストリー（イメージ）



回答者プレゼント（イメージ）

裏面あり



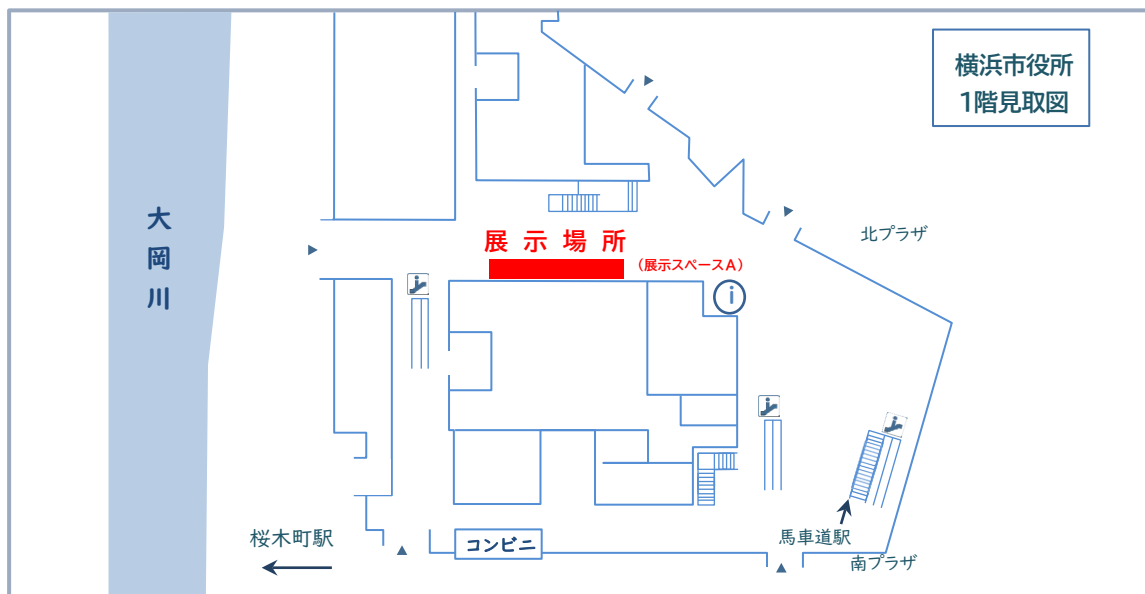
GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



3 展示場所

横浜市役所 1 階 展示スペースA



4 特別企画「横浜水道歴史展×西谷浄水場再整備事業インフォメーションセンター」

(1) 内容

西谷浄水場再整備事業インフォメーションセンター（保土ヶ谷区）でも、市庁舎で開催する歴史展で放映予定の横浜水道の歴史広報動画「近代水道創設の道のり」の視聴が可能です。期間中にアンケートをご回答の方に、市庁舎の歴史展と異なる色の水道局オリジナルクリアホルダー（デザインは同）をプレゼント！

(2) 開館時間・住所等

【近代水道創設記念日】ウェブページの中段「西谷浄水場再整備事業インフォメーションセンター」以降参照

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/sumai-kurashi/suido-gesui/suido/torikumi/PR/sousetsukinennbi.html>

【注釈】

※1 近代水道：川等から取り入れた水をろ過して、鉄管等を用いて有圧で給水する水道のこと。

※2 西谷浄水場再整備事業インフォメーションセンター：西谷浄水場の浄水処理施設に係る再整備事業や工事の内容を広く発信する拠点として、今年7月に開館。水道の歴史を記録した動画等が見られるデジタルサイネージを設置しているほか、大正4(1915)年の西谷浄水場創設当時から場内に現存する歴史的建造物6棟(国登録有形文化財)を公開中。

※3 獅子頭共用栓：ライオンの頭部がデザインされ、口から水が出るようになっている、街頭に設置された給水栓。明治20年に143基が市内各所に設置され、最盛期には約600基にもなりました。

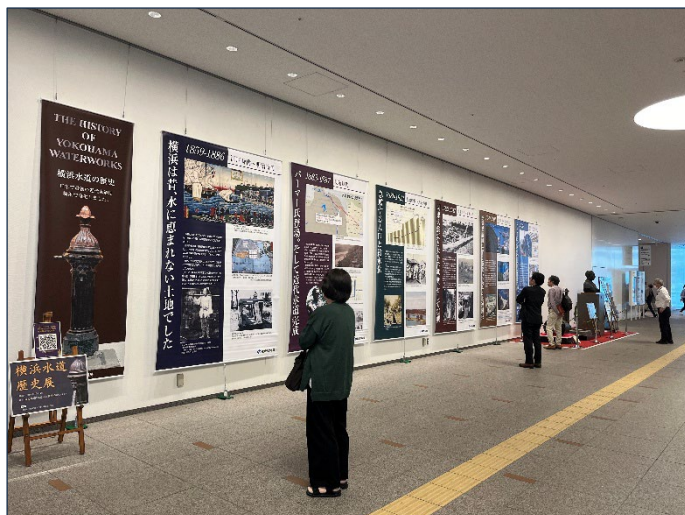


GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



参考 昨年度の展示の様子（横浜水道歴史展）



タペストリー



獅子頭共用栓レプリカ等



横浜水道の歴史広報動画

参考 水道局では、近代水道創設の歴史を振り返るとともに、これからも安全な水を安定してお届けする取組について分かりやすくお伝えする横浜水道の歴史広報動画をYouTubeでも公開しています。

- ・「近代水道創設の道のり」（5分40秒）

<https://www.youtube.com/watch?v=fUPbYdhtYzM>



動画はこちら

- ・「これからも安全な水を明日へ」（30秒）

https://www.youtube.com/watch?v=NaJG7f_vMss



動画はこちら



※ 会場での取材を希望される場合は、取材希望日の1営業日前の17時までにお問合せ先までご連絡ください。

お問合せ先	
広報課長	野田 Tel 045-671-3103



GREEN x EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

